

当所の研究開発、蚕種の製造・配布及び蚕遺伝資源の保存に必要な蚕飼育を支援するために適切な桑園管理「桑の仕立て」、「肥培・中耕」、「桑の収穫」、「害虫防除」、「桑病対策」、「雑草防除」を実施し、良質な桑の提供を行っています。また、見本桑園の桑遺伝資源の保存に関する栽植技術の向上にも努めています。
以下、当研究所における桑園管理のポイントを紹介します。



① 春切り

(1月下旬～3月上旬)

初秋・晩秋蚕期に収穫するために基部から枝を伐採する。

見る  YouTube



② 堆肥入れ

(2月上旬～中旬)

有機肥料は土壌改良効果が高く微生物の活動を促進することで持続可能な作物の成長を支える。



③ 施肥・中耕

(3月上旬～中旬)

春施肥は化成肥料で即効性が高く確実に桑の成長を促進する。また、6月上旬～中旬までに施肥・中耕を同じように夏施肥を行う。



④ 株元の除草剤散布 (3月中旬～下旬)

草が伸びると桑の成長の妨げとなるので株元は綺麗にする。散布は桑の芽が出ない前に行う。6月上旬～中旬まで除草剤を同じように散布し除草する。

見る  YouTube



⑤ 殺虫剤散布 (4月上旬～中旬)

桑に甚大な被害を与えるカミキリムシの駆除。8月上旬～中旬までに殺虫剤を同じ方法で、その他害虫の駆除。

見る  YouTube



⑥ 夏切り (5月下旬～6月中旬)

春蚕期収穫後に基部から枝を伐採。伸びた桑枝は今季の晩秋蚕期にも収穫することも可能であり来春蚕期に使用。

